

「妻に感謝！」

福岡森林管理署
若宮森林事務所森林官 井川武史



井川家三代（祖母、長女、筆者）H21.5.10「沖縄子供の国」にて

沖縄署の皆様、お元気ですか？
平成16年から5年2ヶ月（通算9年2ヶ月）を過ごした沖縄を離れて、まもなく4ヶ月が過ぎようとしています。

最近、朝晩ともに涼しく（肌寒く）、秋を感じる季節となりました。福岡に来て季節を感じるごとに、妻ともども南国沖縄が恋しくなる今日この頃です。

沖縄署在職中は、希少野生動植物業務や沖縄署の特殊性が色濃く感じられる管理業務など他署では経験できない重要な仕事を担当させて頂き大変貴重な経験となりました。その反面、頑張りすぎる性格が故にオーバーワークの毎日で帰宅が遅く、平成1

8年4月に故郷福岡を初めて離れて沖縄に嫁ぎ、長女の出産・育児、また、今年4月の内報の時には流産しかかりながら私を心身ともに支えてくれた妻には、言葉では言い尽かせない程の苦勞をかけてしまいました。日々のストレスから訳もなく妻に当たり散らすことも多かったのですが、嫌な顔ひとつもせず「家の事は気にしないで仕事をして下さい。ただ、子供のために体だけは大事にして下さい。」と笑顔で支えてくれました。署報沖縄の紙面をお借りして妻に感謝の言葉を贈ります。「ありがとう」

5年振りの森林官業務は、活用型間伐や森林GIS導入・諸通達の改正等々、当時とかなり違っていて勉強の日々ですが、自然の中（現場）を毎日歩いていることが「森林浴」となっているのか、高血圧＋高血糖＋高尿酸外 etc...で生活習慣病へ一直線だった各数値が正常になり、今年度の定期健康診断で十数年ぶりに「異常なし」となりました。

福岡では、現場第一線のベテラン森林官として、若い森林官のお手本となるよう誇りをもって仕事に努力し、また、私生活では、今まで妻に任せっきりだった子育ても一生懸命に頑張りたいと思います。

最後に、10月17日に第二子（今のところ、女の子との診断ですが、生まれてきたら「あら、びっくり」の可能性もあるかな？）が誕生します。命名は『琉那（るな）』の予定です。名付けの由来は「琉球（沖縄）の那覇で授かった子供」です。4人になった井川家の三度の沖縄生活があるかな？

では、沖縄署の皆様、九州でお待ちしております！